銀臺遺事

117
1383
1

新著述之事

[illegible]

一 此冊子ハ[illegible]誤多ク[illegible]ル多ク[illegible]頗る[illegible]年[illegible]次第[illegible]
[illegible]前後[illegible]不[illegible]知[illegible]めんとや[illegible]思ひ出る
[illegible]作[illegible]て[illegible]註[illegible]なり

一 [illegible]て家[illegible]老[illegible]て國ハ極[illegible]多ク[illegible]次第[illegible]
[illegible]家ハ國の政勢を首[illegible]ハ学[illegible]者[illegible]知[illegible]ものを先
[illegible]江戸の諸[illegible]多[illegible]を見む人の御溫觴を[illegible]
事[illegible]

一 松平米田吉之氏ハ何れも[illegible]石以上を領して[illegible]て藩代
の家老[illegible]中老[illegible]ど[illegible]蔵[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

名それをかりき

一 寛延元年の夜初めて入國一郡中拾俵の
夫の為無き様にと自書を以て
請ける清廉不私計事あり先代より
稀なる事なり有
年来不直の米も
無義通義
を無事に仕義人撰宜しくさるべき家不肖者
又は後段〳〵の依怙贔屓
を以て為る事
中村京兵衛
の名角和歌の節望みなく
中村京兵衛
の少なき事なり
及
後の少なき事の如き
後段を以て
不許出
ふ年来一家中為ふ事なり
ふ年の依怙贔屓
なり

有し
夫あり夫は先人の言ふ通り
封事を以て
國政の為に家中為
封事
おれ
一和と
して治國
に
俊く
行れと
考る
隨
家
を立
樹
を
事
功
を
奏
し
未
徳の
事
と
深く
戒め
ふ
夫
当封事の書
を
考れ
通
ふ
事
の
一
同役
為
ある
事
を
用
拵
せん
と
たれ
ば
事
を
て
磯
と
関
ること
賢
愚
の
分
も
元
年
自ら
学
の
意
と
集
り
る
商
士
ふ
く
る
情
実
の
影
を
く
かる
理
を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

※一

人の中立身と揚そうく立身中者も出そうふくハあり〳〵や
たんく〳〵ふ持ち取り申事

一 但新役古役の者ハ隨分義を専ら
中務ハ出れ
一 平人ハ、たゞ好こと分掌と仕り申ハ主配り厚き
中務、たゞしハ何れも筋合の有り難き事

一 新規の寺社建立停止の儀ハ公の事柄ハ領内ハ元ら
厳重と沙汰あり候ても猶ハ心得こしらへて寺院
建立
一 建立者早と分ら者也者ハ建立ハ無ハ
果ら論ふ事りんらと為ハ是ハ実庵三年 寅月
使くなるべし

市井者ハ寺院ハ建立あまたと相仰ハ家中
の面〳〵屋敷ハ者ハ一体り教ハ心ハ
果れされハ俗と自相と論いうまし
〳〵中ハ中ハ上ハ
是ハ人ふとり当時ハ相〳〵おんハ
是しハ孔の神のめも是ハ教ハ中相
中ハ中ハ中ハ俗ハ
ふハ是ハ俗ハ是ハ会ハ心を付ハ相
ふハ 所く高是ハ
是ハ高是ハ寺ハ
是ハ高是ハ寺ハ
是ハ高是ハ寺

人の中立ちを掠めとりくれ申すもまことにふくびかりいや
なるべき事

但新役古役の差合の儀は隨分義理を筋立て
一切相断り申すべきと存じ候へ共、内々相構へを仕り申候へ共、配分屋敷
中絶致し不行届の儀も出来申候哉の事

以上

一 まず小國の御おれい使者の始末ふ様子を聞き
申の使ひ人まことにいとふ国くして邪あるまじ
敵き者卑しとなる者也若し敵あるべしいまつくし
果て論ふ事りんふ事なれども其時分
使ひ者多くなるべし

一 此度小國の御使ひ人あまたを恐れ御家中
の面々屋敷みを後方ふ為に修い教いいきかせ
果れさられい使ひ自然と論いをきまふ方
〜中〜者上人ふとり当時の御使ひ者おんなじ
是しみい考れの神のものもてなしの教ひ事
御使ひ中実人来ふ者ふ考しい彼是合ふ心を付ふ程
ふて 所く高是ふ不出ふ所ふ承り来ふ程
ふ考ふ監物後ふ中 ふ所ふ程
ふ事

一 寶暦四年癸酉二月中の城ふ学校を建ふ
ふと時習館と名付一後藤図内信忠英を総教秋山
儀左衛門主教と為授ふ訓導句読師あふ

下ノ方

一 [illegible]ニて自殺せし者ハ昔より子孫相續を許さるまじきよし
[illegible]不便ニ思召され寶暦三癸酉年命しかるべき事あり其後[illegible]
[illegible]ニて家中[illegible]しかるべき相續[illegible]
[illegible]ニて自殺[illegible]跡目[illegible]相續[illegible]
[illegible]竟ニ病死の儀[illegible]以後[illegible]相續[illegible]
[illegible]

但右自殺ニ[illegible]
以後[illegible]

りの十年年号を武を習ふ所を本校西校と名付あり
武義の所を以て[illegible]まりの所あり生徒後ハ十余人
小及ばり宗中[illegible]侍る[illegible]の事[illegible]かんと[illegible]
[illegible]の武を習ふ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]新学[illegible]小[illegible]
為[illegible]農[illegible]高[illegible]
許さるハ[illegible]俊秀あらん者ハ勉撤ふ入るを
定政事理を講ぜ[illegible]武の師を[illegible]
[illegible]ハ[illegible]を例[illegible]
[illegible]講ぜ[illegible]
[illegible]の事の[illegible]
[illegible]勅の前達[illegible]国の初
[illegible]奉行所学校ふ[illegible]新[illegible]

導[illegible]
年月[illegible]
[illegible]
名[illegible]
[illegible]作止[illegible]字を書せ[illegible]扁額と
[illegible]の三八ハり講所[illegible]経書を[illegible]講を[illegible]
[illegible]老[illegible]
を[illegible]伯[illegible]
[illegible]
少[illegible]講を[illegible]
[illegible]の[illegible]指揮[illegible]
設[illegible]君[illegible]種を撤[illegible]

[illegible]
君ふ生るふ少而せ[illegible]
寶暦七年四月二年　稽古館ふおいて[illegible]の文武の業を
自ら試むふ[illegible]例と[illegible]
江府ふ[illegible]丙午年八月の末の頃ふ始めて[illegible]
試み[illegible]新屋四ふ[illegible]ふ[illegible]れたるを八年ふ一度備
者ふ[illegible]集めて[illegible]
四ふ[illegible]れ[illegible]と撰[illegible]
十年の講者ふ[illegible]君の[illegible]
中[illegible]年[illegible]人ふ家ふ紋の服を[illegible]
ふ四ふ[illegible]あり人[illegible]

を[illegible]
功[illegible]ふ[illegible]れ[illegible]の[illegible]文武の業を[illegible]
[illegible]文ふ長[illegible]武[illegible]
[illegible]君の恩[illegible]
[illegible]
の集[illegible]
[illegible]
寶暦五年二月[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ハ[illegible]細事ヲ用ヒ義ハ[illegible]

布事多[illegible]女ノ衣服ヲ[illegible]

以上指事[illegible]

制外多[illegible]

[illegible]国[illegible]罪[illegible]死刑追放ノ二ツノミヲ用ヒ来

ヲ賓厲五年ノ[illegible]笞徒墨刑ヲ初メ[illegible]家居城

[illegible]勝名[illegible]刑法草書一卷ヲ[illegible]

[illegible]刑ハ一人ヲ罰シテ万人ヲ治道也一人ヲ殺スヲ至テ重セトス尼化ノ[illegible]俗ヲ敗ルノ徒ハ其天誅ヲ如何故

唐虞三代以来刑法有テ聖人ノ最厳重スル處ナリ古ハ墨劓剕

宮大辟五刑ニメ異罪合テ三千條ナリ漢ノ相国蕭何律九篇

ヲ造リ罪ノ軽重微細合テ音楽ノ調律十二調ノ外ニ出ス正声各

合スルトヲ云ニ比シテ律ト云名始テ起リ歴代損益アリ伝[illegible]大概

此九篇ニ本ツクト云リ近代ニ及テハ大明律尤其精詳ヲ極ム[illegible]

本朝公家ノ世淡海公藤原不比等和律十二巻ヲ作リ其後武家

之世トナリ此律モ陵夷ノ海内戰国ノ餘風ニ因循メ今ニ至ル我

藩ニハ死刑追放ノ二刑有テ盗者ノ初犯事追放ニ行ヒ郭外

方幾里或幾郡ト限リ禁錮遠近ノ差アリテ一旦懲恶ニ似タリト云ヒ

禁以外ノ地ニテハ衣食ノ便リヲ失フ切ナレハ縱令恶ヲ悔改セン

ト欲スル者モ飢寒ニ堪サルノ憂已ナリ盗心遂ニ復生シ所在ノ害ト

ナル如此ナルトキハ何ヲ以テ恶ヲ懲シ何ヲ以テ害ヲサランヤ唯一国中ニテ

害ノ所ヲ選スヘシナリ是主カ水ヲ治ル鄰国ヲ以テ壑トスニ近カラヤ

然ルニ初犯ハ死ヲ宥メ再犯ハ死ニ処ス其差アリトイヘドモ止ノナキノ一毋
犯ヲ死ニ刑スレハ[illegible]ニ虜スルトハ則是ヲ[illegible]井ニ陷ルテ殺スニ似
タリ如斯ハ其罪戾彼ニアラスメ是ニアリト云サルヲヲ得ス是舊典
セトニ云ヒ治平久シク今ニ到テハ時勢ノ人情ニ齟齬シ處置ノ當ラ
サルヲアリ此ニ於テ　君侯嚴命ヲ革ンヲ(下ニ)ヲ俟セシム大哉民ヲ恤
ノ德封内ニ布クヲ永ク不朽ノ善政ト云ヘシ蓋今綿密ノ律ヲ作ラ
シメ国ニ施サルヲ其美言(カラスト云ヒ)(恐々)頓ニ行レ難カルヘシ故ニ先ツ大
敬ヲ救ハシメハ其類推スヘシ臣愚ナリトイヘドモ敢テ固辭スルヲ得
サルノ職ニ列ス故ニ今ノ刑法ヲ増裁損シコレヲ簡易ニメ僅ニ數條
ヲ左ニ録シ秘書(類)メ執政ノ府下ニ呈ス其精詳ナルヲ大明律ノ如キ
ハ伏メ後ノ君子ヲ俟ト云ヒ而已

※二

寶暦四年甲戌夏五月　　堀勝名頓首謹言

一　寶暦六年の頃岩部郊外の角井と云ふ医学家を建て春
船と名乗り(此家ハ明和八年郭内ニ移サル)村井見朴(原理)を師とし
領内の医師小医学を勸めらる又医業吟味と云ふ法を建て
領内の医師共年々療治せる病人病名(奇)を書記
学の病ハ只生ハ義を記し一月毎ニ(必)医業吟味(の元)へ出
屋敷(と)提(げ)出ル医師と雖も医業(と)を学(ぶ)
屋敷の少年より思ひ又医(道)の業(の)
出ル世話ハ[illegible]繁
[illegible]あるくるくるくる建て部ト云ふ
[illegible]繁茂蔓延(杜)
[illegible]と名乗り[illegible]
物を(上)[illegible]仁義の[illegible]

然ルニ初犯ハ死ヲ宥メ再犯ハ死ニ処ス其差アリトイヘドモ止ノ一ツキノ再犯死刑ニ處スルトハ則是ヲ陥ルテ殺スニ似タリ如斯ハ其罪戾彼ニアラスヤ是ニアリト云サルヲ得ス是舊典セト云ヒ治平久シク今ニ到テハ時勢ノ人情ニ齟齬レ處置ノ當ラサルヲアリ此ニ於テ　君侯嚴命ヲ革ンヲ図セム大哉民ヲ恤ノ德封内ニ布クヲ永ク不朽ノ善政ト云ヘシ蓋今綿密ノ律ヲ作ラシメ国ニ施サルヽヲ其義言（カラスト云ヒ頃ニ行レ難カルヘシ故ニ先的大敵ヲ救ハシメハ其類推スヘシ臣愚ナリトイヘドモ敢テ固辞スルヲ得サルノ職ニ列ス故ニ今ノ刑法ヲ増裁損シコレヲ簡易ニメ僅ニ數條ヲ左ニ録シ誓願メ執政ノ府下ニ呈ス其精詳ナルヲ大明律ノ如キハ代メ後ノ君子ヲ俟ト云

寶暦四年甲戌夏五月

堀勝名頓首謹言

一　寶暦六年の頃岩郡外の角井と云ふ医学家を建て再春船と名付け（此家ハ明和八年郡内小移サル）村井見朴原理を師とし領内の医師小医学を勧めらる又医業吟味と云ふ法を建て領内の医師ヲ年〻審治せる内ふち病奇病ハ医業を書き記す者の病ハ只生〻ハ為と記し一月毎ふ必医業吟味の元へ出ス提と云ふ医師と雖も出務をし者（業をする医師と学ぶ）の家封の少年り思ひ又医学ふ出ス送と学ぶ者の一業ヲ出ス出ス出ス

※三

取り名ん名ん有り

一　寛永六年の頃国中の侍並陪臣の者共
呼と申候中ゝ寛永陪臣と申候者共の心を
はかるに中ゝ容易ならぬ事有り
書付多く物多く年ゝ度々陪臣の方を詰け
れハ陪臣も論議たゝ
しそで

一　扶地高百石の侍ゝ定ハ学録百石の侍ゝ隆徳院様の御時
近侍ゝ者の御代ゝ有りゝ納戸の者共て有りゝ和時
寄合ゝ見ゝ申ゝ大志ゝ高ゝ長ゝ有りゝ
伝兵衛ゝ申ゝ大摩ゝ申ゝ

別ゝ出ゝ有ゝ付ゝ方ゝ
掃除ゝ者ゝ中分ゝ
ゝ申ゝれハ自ゝ
ゝ辞退ゝ
ゝ陪不ゝ
ゝ立百石ゝ
ゝ陪料ゝ
ゝ
ゝ陪ゝ
ゝ
ゝ

無

一 救ハ一名ハ名ハ有リ

一 寛永六年の頃国中の侍並陪臣ハ召寄ル
ヲ以て代官ハ小寛永陪臣ハ
ハ召寄ル方有リ場所名ハ下ハ心の合ハ
書付ル物ハ年ハ寛永ヨリ以ハ
ハ陪臣ハ論ハ
ハ

無

一 陪地高ハ定ハ百石の侍ハ陪臣ハ
近侍ハ家ハ代ハ
家ハ
ハ

別ハ
掃除
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ

とゝ[illegible]ふ委しく[illegible]れハ侍とかゝ[illegible]郡の御農[illegible]
国[illegible]の後[illegible]を不領[illegible]ふ[illegible]編[illegible]多[illegible]
事[illegible]新[illegible]ひあ
同年の事ハ[illegible]と[illegible]形ハ古集[illegible]論[illegible]亦中
さ[illegible]を自ら書て接ける[illegible]ふ[illegible]
事知り代[illegible]お續の[illegible]大代当國の[illegible]ふ[illegible]古代の定
め[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]新知加録[illegible]
世録ふ中ハ当國ふ[illegible]の[illegible]ふ[illegible]後年勅[illegible]
[illegible]録[illegible]代[illegible]ふ[illegible]
[illegible]ふ後[illegible]二年以[illegible]の知[illegible]
お續せ[illegible]め古[illegible]の新知加録の[illegible]代[illegible]お續の[illegible]

[illegible]て[illegible]ふ[illegible]孫拔屋の[illegible]ふ[illegible]
準[illegible]孫の[illegible]ふ[illegible]
知加録[illegible]
為[illegible]
[illegible]録[illegible]事[illegible]ハ[illegible]恥[illegible]ふ
と承[illegible]
[illegible]君一代の[illegible]人の[illegible]
[illegible]ふ[illegible]
不領ふ[illegible]
[illegible]
[illegible]録[illegible]
[illegible]ハ[illegible]

古の除宮あられて後芳あ之年と栄ハ拾ふ方ハ
き多る家を釈教仕を与ひ又ハ死去ハ時ハ家を絶くす
家の行恢を いふ所を文学武芸の道を委敷封蠟に
家組ハ与ハ事別なの切学とるの才能を計り拾君臣の者ハ
新録と云ふ論せられ て親の後場ハ家ハ
多之八千石の知行と九万石ハ石を加へ遂ひ後場と
れハ御懲ハ与ハ家中の子弟ハ御学ひ
急ハ九万ハ文学小課ハ武芸ハ京京無後
極め多ハ拾小医師ハ技芸を多く学ハ者
ハれハ世録ハ与ハ廉米を後場ハ家を絶ふ
省ハて業を拾ハれハ偉ふ米を与ハ拾ハ学

ハ年を強く上達ハ遂ひ後ハ跡ハ
増く地録ハ者ハ家督を後場ハ
ハ者ハ拾其遂ハ四郎ハ家を食と云ハ少
ハれハ是ハ家業を廃ハ
往昔延享四年の頃世出奇の子ハ家督相続ハ他の者
家ハ一ハ雑ハ米中ハ公儀ハ被宮ハれハ後
禄祿の内の子ハ世ハ家ハ場ハ振ハ
ハ者ハれハ一生況義ハ
藩中ハ命ハ中ハ君ハ侍ハ思ハ実ハ
世出奇ハ ハ家ハ相続ハ新屋信ハ
者ハ後ハ家督相続の者ハ他ハ

年一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

日本にてこれを江戸語にて何の出来ぬ何の露
江戸語にて元来之何の何の江戸名仕当ものと申す公
或は今様と或は野当何の何の江戸と云ふ何の歌の
言葉なく言仕何のとう出来仕当年月明の近て角に
一　当年何十年ぶり来ぬ
一　寿祝ふ年時代
一　婚礼書ふ何一何某当年何年これぬ初ちの何と何某
門出ぬく時習慣寿祝ふ語五ち祝ふ者ふ通り変ふ立
何年六月
何と何某殿
何と何某利
斯
新ふ年一ふ来ふ結新ち一者を来ふ者ふ必年新当年

一　毎年毎年ひく家の紋の服を始ひ祝儀を祝せられ
毎り年ふ年ふ年ふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十三年[illegible]中弱ていたりし

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一

國[illegible]の法[illegible]勢[illegible]

[illegible]

[illegible]

後天[illegible]

モシ

毎

一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

民を始めとして凡そ藩の者を去るべき筋なく出でたる者は
れハ民と共に去るべき筋なく然れども藩の内面の事を
見きく俄に降来らんやうなるハ之を家臣として民の始め
大方あるべきハ理と深く察せざるべからずと
明和六年九月　　右命を松平左近将監武元君に伝へ奉る

一　摂津十左衛門殿の国元家来の騒動寄屋船
漂着　　藩
ハ藩外人数船入用の御用船十左衛門殿
海へ出船未船中四人乗り中途次第
乗り来りの事出船ハ船中
君達に御尋ねの上家臣
中

一　君達に御尋ねの上家臣

[illegible]に随ひ物具お初拝領
の学ひ家の子弟おさ〳〵出でせん
あるべきも需ずんハ
[illegible]時も油断せざる
ハ[illegible]ん業ハ思ふ力及ひ難きもあらん限り
用意あるべし　　[illegible]
さて那[illegible]ハ[illegible]
[illegible]て[illegible]
運[illegible]
[illegible]
[illegible]

※四

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

※

[illegible]

一 [illegible]

年の[illegible]平[illegible]候[illegible]

記事

諸[illegible]賀素[illegible]

八郎右[illegible]

勘[illegible]

一 [illegible]

対勘[illegible]

一 年[illegible]

理[illegible]

年[illegible]

[illegible]事

一 [illegible]服[illegible]

[illegible]

一 [illegible]信[illegible]

[illegible]

十一月

一 おうす流の免書あり

太守様

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

久世略之み年老乃ると
ゝ
あれ歟九十ゆ元ゝ
と
ゝ
ゝ
ゝ

高安是竹　七十三
高橋源存義　七十二
河川樓川　七十三九

[illegible]女捨九人

一　民ハ賦税の二ハ苦とする所ハ或今ハ租庸調ハ法ハ[illegible]
ゆやされハ国域の詞ハ[illegible]ハ絁の[illegible]ハ絁の[illegible]
[illegible]民の[illegible]ハ絁の[illegible]
れりいかるしくまを移せよ[illegible]有ふ作ふ名[illegible]角
斗のせ[illegible]ふ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]方五千石[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

寛喜四年五の時ハ賦許されて居辛玄の[illegible]
二年計りの[illegible]若干也[illegible]
[illegible]代の賦帯少[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]生産の[illegible]ありとふ傳へ[illegible]ありて稲熟し[illegible]
苅納へ[illegible]初穂を[illegible]ふ貢[illegible]一[illegible]地[illegible]ハ[illegible]
領内に[illegible]
[illegible]年毎[illegible]年共一[illegible]
くはるの[illegible]稲を絶対[illegible]
[illegible]業あり

一
民の租稅を納るこの年ふとり[illegible]宗[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一
民の家宅ハ地の善[illegible]ふ[illegible]
て減稅を出す明なり[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

膝をるこ計りふ水を汲く多り通税の民あれ共みな書子職
是ふ篭く水中ふ立しむ少者子の以あれ共書の相貌の郭望
氷柳を垂るの紅蓮の若しこれ共いくて坊子き
と覚へ多り老多り祝いとけあるを此あるを此あるを思へ洞り
人れなるこ富家ふ向ひくるを持を借求あとやる絹つぶ
るあるさる第一君此りしと共ふ命一少を
富家國ざるくの修酷のあるへとはとく迷ふ命一少を
此へりを侍ひ一ひかりを侍ひ民の貢侍あ遣是して絹め
給ふ家ふある民を責さいるあ出ましいとかまみ志うさるるのと絹
世の人を深く味ひあるこ
行基の心をもつく仁基の設とりひあひ此れ民寛も身ふ塔て

施ひ法をもとふあれるこ寛厚の中ふ立り苦難家の解稼
りとふるのを始るく一年ふ二度光ふ住り古の記伝物を以る
いかめしく伝へ多る生祠あると云るふ多るおのやと覚へ一生祭
ふ立りふあるおの物あるこ猛を祈ひ一郷示一寺餅をつき
酒を造りかぜ多の猛ふ随ひく営こまを神ふ供るかめ
供へ〳〵毛ひ一日の志おの業を乳酒を〳〵薬湯〳〵此
君の国ふ生れ合多る多の猛を百日の乎ふ無事の芳
縄をあるさ多りけりを
成玉の主年長くあるを〳〵こしの古仕ふ志を施の撰ひは逢年こ平ひた
まい伝り名れ家のるもは五年家物好を立年人のりとやさん
志をを私あふ利ひ五ふ〳〵もやはとこ〳〵ひ者ま〳〵諸よりか

らん人にられてつかはるひ〳〵拾うてとろふあるとなんてかるに
心ゑ人あれいこそ夢〳〵人の若毛をたれあるかなこれは蕭市なる
安と云つる者は堅固の昔人なるをの法ふい叶〳〵と後ろ石さうしふ
寒なしたあやうんをもりふ近あるひとこそ若童の絵も彫れつれ
はあるあるあれとも仏業ある人に石ふ西尼まい濁〳〵思ひ者〳〵曹
同そうしるる時ふ多ふもてあるを
なる者もあるれとも書物
なるをあるをあるをあるをあるをあるをあるをあるをあるをあるを
なるをあるれは迷ふ迷られてあるりしを若童の絵ふ陸〳〵いと〳〵

ヒヒ一

同常花　左仕られ刑
常盤樹　居内教
常盤樹　絵せるひ〳〵神名ふいてさるく書を吸て教年の仕遣
をるを仕せん事と思ひ好ひひるる拝〳〵作京都十訓書歌と云

左兵衛の佐の城主を左の仕ふ叶ふ事さ右ひ〳〵ひ夜の夜
ひとをつ〳〵業用ひひとを左〳〵を左〳〵
見〳〵くを
左〳〵を左〳〵を左〳〵を左〳〵を左〳〵を左〳〵を左〳〵を左〳〵を左〳〵を左〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵
ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵

[illegible]
せくおきりとふ儀ふかし函のを信玄ひしてより年月ふれたい
さかしかれ茶釜れ茶釜ハ[illegible]ハ管仲の能[illegible]とふ
[illegible]の先祖市郎左衛門尉藤原実代の家人かく
物語多くるの天正の頃阿蘇とおもとの勢ふ嫡子[illegible]隆房と
[illegible]ふ討死ス隆房の子上総介家[illegible]ハ阿蘇の家を退き
隆房ふ[illegible]文禄四年薩摩君豊臣家の仕を請く薩州ふ渡ら
[illegible]府城の諸[illegible]ハ[illegible]ふ家[illegible]の
嫡子市兵衛朱[illegible]ハ[illegible]物[illegible]ハ[illegible]の利[illegible]もの[illegible]
ハ薩摩君[illegible]ふ[illegible]ハ[illegible]
百石賜[illegible]ふ[illegible]ハ[illegible]ふ[illegible]天下ふ[illegible]

[illegible]
[illegible]ふ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]

事歟ヤつる子細あつく沙汰を加へ
ふあり事柄ハ問ハ問
一 ハ和七年の春の頃君の寵臣不正の事ハ罪しるし
都者まりあとヤ合られそし所詳しあり年ハそれ以法ハ
人ふ依く内く強ク強ク所あおちふヤ内ハ和八年正月吉
まり磯のもの弱と糸りなる弱しる相屋ふ警理ふ出ものを
の刻ふ内ぐれもひまふ湯をそ行ものられぬ能ありそれと近習の
者ふ付く何事ハ輪を何らんそ糸り多りとヤ内れハ者の人を除
て疾く去さるまり出るのより一とヤ内れと形ハ玉ハさりそれハ
一向諫めて内詞ふ申ふくひまるの事ふ申ハ内て立ら多る
ハ是是の競錯ハ未糸らまつ次ハ共近習の者ハ膳を

一 治世の明君臣の内自ら遠さかりて玉の老臣あとハ君の品者へ
去さるの内遠ふ例の世を人あとふ者の品を諸多そ
乃るの行ふ内の諫ふ内の風を信る紙とありて忍ふ内ふ是
と君のあり近ふ近れ新まるの侍ふ強
のるあり君内く比弱と近れもひ仕立の近習外様の一ハて
是を老臣ふ信せ内ひ内ふ用りを定め家老初めより身
新所勘定所あとりより内あ糸りて玉磯くのを重ヤて
内命と諸く沙汰ふ近習の者内者ハ近て仕ふと外様の

右ハ元和元年ヨリ以来新ニ令ヲ戒ル所ノ法ニ
ヲ作ルヲ以テ社ノ風ハ元ヲ正シ
弱冠ハ位階官職ノ節ヲ分チテ官位ハ当世ニ
行ヒ官ハ家ニ承ル所ヲ準ラヘ
用ヒ位ハ席ヲ以テ定メラレタリ其ハ高
ヒ位ハ家ヲ以テ老物ト
ヲ第ニ分チ若年物ノ年士
級ヲ分チ若年ハ
十人ノ所ノ次ノ年士ハ
ヲ以テ程学ヲ以テ
席ハ若ハ者ノ
ヒ

ヲ役ハ付ヒ多ル者ハ役ヲ以テ
ノ者自由ハ
格ヒ
ハ
ヒ
ヒ
ヒ

横教を建ひらくの人生ふ云しう如しおの教授秋山完改名儀字
八字用玉山と号しく云名の士多り君嘗ふ寵遇あり関東系勅の
度無ふ必ず百員しまひとしてロ一向を教育ふ事ひとなりし
斯くて寛政十三年ゆまりりまけ佛師ふ蕃義次郎と云ふ者を教
授しまふ義次郎名慈字ハ子尊弱陽弧山と号ふ云つる蕃帝
ふ郎ふ卯ふ月ふ日ふ久伝傷つ弘篤号を情斎と云しに月ふ大塚井ふ三
久年号ハ字高路仕しく迫壁と云しに二人必ず会ふく程朱の学説
研究しに頗精奥を極め多り集を情斎迷移を学ふ様りふ
義次郎ふ卯ハ子ふ庭訓ふ習ひ家学を伝へ教授ふ力りし時
いまハ年三十ゆ足さりしふ学徒いふ集ふしてゆ自の主とり
来て指導ふ力ふ多ふりし君の諸ふ師計ふ教授の語ゆ教を達拙

学の者を主人ふ都ふの教授儒臣ふ門ふり出る者多りし公家中の
例ふして多卯を召仕ふ者ふ和領を場ふら無習ひあれハ義次郎ゆも
年無ふ廉求ふ儒ふ物部の一の廉ふせしめ多り君卒ふの後相
加ふ召ひふ儒者部格ふ次助教あり訓導皆能ふ
随ひふ教ふ物部ふ格ふ場ふ物部ふ格ふ教ふ者ふ
者ふ多ふ士ふの出身ふ遊俸ふ多ふ
ゆ家業ふ医術ふ者ふ多ふ人ふ者ふ
武職ふ通しに用ひふ卯ふ武士ふ
小加ふ儒ふ者ふ

是芳

米田源門は藝能多き人なり。その軍術に通ぜる奥儀を極め知きて
学文を好み、その詩を南部に博く、書を能くし、君命にて家集を
梓りせり。また所園集、書を学ぶ法布せり。書印篆をもて、是稽に伝れり。志
ゝ心勤かく極めて、文彩あり。清代の都老古、四方に出て一万五千石
の領せり。清代最老の者の弟なり。一例の二千俵給しく中老にまでなされ多年若
きふ事を多くして再び要の人庭の主維あるを以て、君とまし
あるを知りて、その弟なりし。年院ふ二千を過ぬれ
ば、制を乗まり、そ是より、移仕を望みせしかば、是稽
を六人嫡子に継せて、孝を書ふ料に八十人扶持を賜りかり。後西山の
遠ふ山石なりしを、造楼を営み、通竹園と名付ふ。しば〻遊
事終を送り、埴下るやうにて、そ是より、年を強て出仕

[illegible]の役所の役者にて、中ませ[illegible]
[illegible]ふ。君の妹あり
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 寛永五年巳の洪水五月朔より降り雨の志のを来りて
つくり如く九月迄おびただしく川々の水溢れ多ふ芦ノ郷の郡戸石山崩
れ崩れ隙磨川をせきとめられ川沿さうまさて山をつみ陵ハ上に
なる所の海ふもとまでいくるる古の街道を塞ぎ所々に堰を押
流し一国ふ川下の百姓ハ八代の萩原こいふ所の堰急義十所押切て
田も畑も流れ死人数あまた流れうせてあれ
死骸共数百人見えあてられ思ひ
くれハ為きたりを注進せ君公様へ公儀へ云上ゆ状ふ曰く
紀錄ふ脱漏ふ有ふ有ふ分ふ追追て後面洪水の前模毛都模
覚
一 高弐千弐百五十石余畑七町
一 塩入 石 洗剥山崩

山田二万千七百五十三町余畑七千六百弐十五町
一 塩濱九千七町五反
一 塩場三千四百十五間
一 川端十三万弐千九百
一 井手場八万七千九百九間 一 積所
一 水除石垣八百五拾間
一 水除柳 弐千弐百九十七間
一 山岸一万七千百十三間
一 井樋百八十七ヶ所
一 堤敷一万九千七百六十六間
一 流家二千百十八軒
一 流失書所二ヶ所
一 流舟百弐拾艘
一 同社二ヶ所
一 同過堂八ヶ所
一 同代官相市ヶ内 弐百弐十石余
一 流水三千八百弐十弐石
一 流死男女五百人
一 溺死弐百五十八人

[illegible]横ヶ谷村
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

津米取りて死を弔ひ堤築て田畑の荒廃を回し
給ふの仁政民を恢ひ邦の宝仏の尊敬ひ給ふ野風
七郡を萩原堤つゝみの唄とふ民うたふ△堤は岩の民のを
ふ堤をもとふ又堤とゝゝあり堤を堤とも書ふあらん
○秋の田の稲津の郡のありせを志四郡命を誇る多もん
○萩原の堤つゝみを多をやめの花もう衣をてをふして
○あるうふ君八郡うゝ佛うゝ孔雀命と多もけ多もくを
○ぶ京や書こゝ君の八目堤をあるり奉こゝ
○志のなをを蕉のあなれ誇となる志れぬ人をうけを志て
○なをこゝをゝうゝ堤をつゝをもの衣たもふひあらん
○志ゝ京の根に衣ぬた日八幾日とあゝしを

○志思ひのち生ゝゝゝ八佛ゝゝ郡ゝゝれ作のさらゝゝや
○ゝ幾日つけの小柿をとゝもゝゝ八代のつゝ堤ゝゝも
○ゝゝの吟き付八ゝゝゝゝから衣裁ゝゝゝゝゝゝ
○ゝ背ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
○ゝ情ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
○別ゝふ稲ゝゝ男ゝ打のせゝ心ちゝけゝゝゝゝゝゝ郡
○郡ゝ生ゝ君ゝ堅ゝゝれ八神ゝゝ玉佛ゝゝゝゝゝゝゝ
○稲津某の方ゝゝ昭ゝゝ男ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

○に[illegible]君の心の内ハ[illegible]
○[illegible]
○毎の拍子[illegible]
○稲津の神と云[illegible]
○い[illegible]
○[illegible]
○つ[illegible]
○[illegible]
○[illegible]
○[illegible]
○[illegible]

出て民ふ[illegible]られ[illegible]ハ[illegible]
ハ公の金の塊[illegible]
○海の石山の[illegible]
塊築[illegible]
○山と[illegible]
[illegible]
○あの[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
右八代二百石を領し多く仕あるの天性猛々しく隆徳院殿の御代に
領内の租税帳を出用なさるに形儀自ら進む出さる
と仕り多ふ八三年の間豊ふ有しかるに若年にて中ゝ
多遠ふ服仕らんと願ふ望みやもしの郡部と云ふ命ずるに自ら
事をあやまり所官あるの邪あるを知る者礼問しかるを怨望ふ多人搦め
さるゝ首斬多りしに今彰の考ふる崔の寄ふあるを以て自ら
めて[illegible]ふ不[illegible]ふ不[illegible]ふ[illegible]
心を知りきりに多ふ病死らられし[illegible]民[illegible]と悦しの彰巻を流
されの渡る多の御ふ清き多らん心地しく物を[illegible]
みの[illegible]三年[illegible]強さるふ郡[illegible]

[illegible]
[illegible]ふ[illegible]れ律ふ[illegible]君の御代ふ[illegible]郡[illegible]と
[illegible]ふ[illegible]の[illegible]任み叶[illegible]
[illegible]

京ふ何藤の大宮天と云る[illegible]あり神武天皇の第二の皇子を綏靖
皇の御先と[illegible]八井耳の子るとゆ[illegible]天下知しられるの
らあるゝ御[illegible]
火[illegible]の玉造る[illegible]阿[illegible]
藤原姓とあ[illegible]れ[illegible]の[illegible]
[illegible]を[illegible]とらしむ[illegible]大宮司の元祖ゆ[illegible]
連[illegible]
勅を[illegible]

[illegible]

惟典卿の祖父右叙爵

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]代み[illegible]書籍經史子集百家[illegible]
四論語詩經書經[illegible]
日[illegible]あれ必[illegible]
[illegible]書[illegible]文庫[illegible]
經史[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]諸[illegible]
[illegible]
[illegible]

一三七 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

一常ハ七ツ半時ニ起キ法花ヲ誦シ実ハ経陸ヲ誦シテ夫ヲ起セ
法ヘリ扨黄蘗山萬福寺の伝職ヲ尋ル僧を招き法
ヲ問ヒ妙蘇院殿の弟入りしてより寺務おさめ宗法洋々
立ヒ来たり法見ヲ聞く誰ハ是を聞くべき唯僧ハ法門
ヲ聞くべしと思ふ事を以て若の事対面し給ひ法意
新しく侍ふ所ハ朝ヲ詔あり之を聞しを尤
出家ハ法の物語のほかなる何ともなくして事ハ
て新くまず扉入ル者ハ僧侍大ヒに驚きて嘆賞し奉れり

一ニ也拾貫文の会集をみ寄て西を拾ー多色能ー小系色ふ
かふひ数ぐん

一 ひかたくして武蔵さ国熊ー野ふかふ国に掘れさるを
いまふいとけあくあらもーひかたに影ふ 霊雲院殿ー附系らせられ
多ふ傳ふ木石無畏ふ上明ふ右あり 作花流院の射熟ふ道ー多りーふ君十
年あり多ふ意ふひ平ふ学ひまふ閉二十年をふ国をひふ考えふ立
年のひけ無畏ふ帰ふ国ふあふ磯を辞ー帰後ふ帰ふ人ふ
形年末の名称を持ー人ふ室持ふ遊まその云れふみ年立の形
ふ云ふをもやふく都土清ふ云ふとふもの多ふ八寸の的を矢番百
五十節射ふ中ふ百四十九節中りて只二ふ中ふあふこと
ふん無畏ふ老後ふ帰雲ふ云ふふ書ふけふと語りて感考ー芳き又

海表相応ー思ふふ拙ふ意ふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]ろう[illegible]年老ひ[illegible]病さくつき[illegible]れハ人々[illegible]ゆめ[illegible]やう〳〵弱者の
[illegible]あと[illegible]数をなし[illegible]まゝ垣付[illegible]法[illegible]ハ[illegible]て[illegible]
一 或時関東ゟ[illegible]ゟ[illegible]ゟ[illegible]ゟ[illegible]二人使ひ[illegible]て君の[illegible]ゟ[illegible]
ひ[illegible]ゟ[illegible]の破[illegible]ハさゝ[illegible]〳〵の[illegible]
例の[illegible]あり[illegible]鹿[illegible]の[illegible]ゟ[illegible]
[illegible]て[illegible]ゟ[illegible]ゟ[illegible]ゟ[illegible]ゟ[illegible]ゟ[illegible]

一 [illegible]の系統の強弱やあらん或は[illegible]
[illegible]なるべしてのみ遠ひなん調味の
の伝もあり[illegible]と思ふ強[illegible]
神名[illegible]まと[illegible]思れ[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

たさるゝ心よりたゝかひをいらてゝ[illegible]れ[illegible]おのたまひしは景[illegible]
[illegible]結ん業をもてゝ[illegible]ちんこ[illegible]れ[illegible]
北義信の軍[illegible]詳しくけ[illegible]是[illegible]
[illegible]の[illegible]業[illegible]

一 [illegible]のことのたゝかひ[illegible]ものゝ[illegible]を[illegible]あと伝ある所生[illegible]ふ跡[illegible]
陽[illegible]たゝ[illegible]ハくてあとやせハ実さ[illegible]思ふらめ[illegible]れ一向み学ひ[illegible]
[illegible]一切のゝみさ[illegible]ふらを独[illegible]人十度[illegible]ハ[illegible]百度[illegible]
思ひく若かりし頃とう撰[illegible]ふ[illegible]やゝのゝ[illegible]
[illegible]れ教まゝ[illegible]一[illegible]てち[illegible]ハたゝと思ふ[illegible]ふ[illegible]
して油[illegible]を[illegible]庭[illegible]く学て[illegible]
[illegible]の[illegible]さけ[illegible]と者ふ喩[illegible]
諸藝[illegible]学ひ[illegible]武[illegible]
[illegible]ハ辞[illegible]

[illegible]ハ[illegible]結[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]命[illegible]
一[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

一　下城の者をさしてはれと呼ハ城しき仕業なり[illegible]
やはりのあきんどおのつから家の好けるはなり[illegible]
おふ是ハ[illegible]の初め秋山定改られしハ[illegible]
云ふ[illegible]あふ[illegible]詠めやしを生涯ならせもしいしとそ
[illegible]を好うあ[illegible]
[illegible]れ[illegible]の[illegible]
[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

れさの[illegible]ものしるす事無[illegible]白金は西書房と　八分は[illegible]長系
み入ものしるしもつ一ぱいえ紙のぱいぱいにかきて日出るさまの打つとひたり
きれいなる水を筆にてやかるるかしらしるす分料紙すべて[illegible]
くらみ作る男女のみちんぱいに紙のまきをかくさせるみ
君諸くの時一石金もて平左衛門の[illegible]
清[illegible]山と象嵌をかきんるる[illegible]の
分料紙[illegible]各み書[illegible]の[illegible]遠ひ冥冥[illegible]
ぱいに[illegible]のまきみ作[illegible]こそ[illegible]
を[illegible]通の[illegible]あくや思[illegible]
料みくあるとの[illegible]と平左衛門みぱ作[illegible]一[illegible]君中
風のぱいぱいにかくぱいぱいにかくぱいぱいにかく

一

山子源七郎ハ相ハいかゝ女さゝ病ゝ右張ゝとあるうちゆゑ孫名
玉ゝ蛭井と申女房とめてさけ腹ふゝ蛭井生れさせまゐらと一人ハ掃
部とゝく女の童ゝゝいとけあるさてゝ別仕なりる者の腹ふ男子生
れ玉ゝとゝる云と申ゝ玉ゝ蛭井ゝ玉ゝ蛭井ゝ掃部ゝ玉ゝ
ゝるゝ云ゝ人の外ゝふゝ後ゝ近ゝ百ゝ多ゝ女ゝ掃ゝ掃部ゝ玉ゝ
ゝ孫ゝ多ゝ張ゝ栄花を極めさせる男ゝふ君ゝ女房ゝ
掃ゝ玉ゝ蛭ゝ云ゝ云ゝ云ゝ蛭ゝ掃ゝ掃ゝ掃

一

年さへ[illegible]ゝ誠め多きに八月の女房[illegible]
おのこの方にも陰徳院殿を始めふく[illegible]
内外紀[illegible]を八月心地病[illegible]
吉[illegible]八一族の[illegible]
先[illegible]
られ[illegible]
[illegible]
[illegible]

一　生の敵と搦て四人と組ス
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

一

[illegible]

一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

君[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

しかるに一ゝ古もありしかども拙者共ハ宜敷[illegible]
ちがうさる丸ひ張ハさりとも少将ふ任ー[illegible]
せ申[illegible]通例ぢりこゝ者ありしれ[illegible]
書やられ多りしさ[illegible]

一 所表ハ多くやうん常飯とそ[illegible]
まとそふさる張りの拍少さる破竜ふまるひる者ハ必ハ[illegible]
さるめけるふ一ゝ本多鶴みく[illegible]
者ハ考ハ[illegible]ハ[illegible]
てまゝ系らゝさゝ[illegible]
ハ[illegible]蛮飼
と業と[illegible]
[illegible]と[illegible]

一 御目 長命の少後ハ[illegible]
[illegible]時[illegible]
材木長ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

かるらせ多ハさりき

一　一さゝもの等の類ハ、ゑ、ゝ、ゝ、ゝ

一　茶の方の侍とも昔が宝物とあり[illegible]居[illegible]て[illegible]茶道具
葉を[illegible]販せん時は茶[illegible]あるを[illegible]ちんを[illegible]まを[illegible]
為に宝ひろはは世の中に多きものを水やきとしてあるされば[illegible]
ひくに[illegible]あるまじきなれとも水を多くもひきるもの[illegible]
[illegible]費[illegible]の如く[illegible]物を[illegible]
[illegible]物あれ[illegible]
[illegible]
[illegible]

一　雑具[illegible]茶[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

毎

一

[illegible]

一

或時江戸[illegible]国重の[illegible]
[illegible]
[illegible]

物の深ふ珍しく言ひ傳へ語り[illegible]
[illegible]
されども稀人の答へ[illegible]志し
[illegible]
[illegible]

一

[illegible]国の[illegible]ふく考へ[illegible]
とふ物を[illegible]
設詮
[illegible]

[illegible]して[illegible]
[illegible]
[illegible]

一

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひられ公方様の御作なる木ぶと同セもの作り給ふ木ぶと中られ、家、作れるも
いと珍しかりと宮ひ[illegible]けるやくの素質ハさるゝ〳〵よくられとも立ちあれハ
自ら物好きをこのひおとれ　ハ　ひ[illegible]れるものゝ[illegible]ゝ時ひまいら
一　ゝ侍従ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

やうにされば かくる訴訟をきるの口情しきさまさいへ修り斉書の孫孫
[illegible]家一生の弱ばかりいとこそしいとなれいこそいとなれ年みと領分の民
世間弱さをさうしいとなれ[illegible]ていると屈くしてこそ
ちめこそ不審しやうしかくこそいしまれ元年の末の[illegible]ちの次の十月の
れましくさあるれば[illegible]けまの民とこそ多くこそ弱多くこそ

冥加よけいあんう

明治[illegible]なる[illegible]時の概略の事（家老長岡勘解
遺をたくさん相談の度よ[illegible]肥後国[illegible]しくさ[illegible]多くかりしこそ
しかれば[illegible]の物ども[illegible]債い果て国[illegible]やと同[illegible]
[illegible]ば[illegible]ども[illegible]債[illegible]仕[illegible]国[illegible]難[illegible]中[illegible]
さと[illegible]同[illegible]遺[illegible]中[illegible]六[illegible]大国と[illegible]

[illegible]の[illegible]不足[illegible]の恩[illegible]仕[illegible]と[illegible]家の事[illegible]
[illegible]まと[illegible]年[illegible]遺[illegible]仕[illegible]カ[illegible]中[illegible]
公[illegible]年役の毎の[illegible]遺[illegible][illegible]
[illegible]と同[illegible]の[illegible]
肥後[illegible]の[illegible]
[illegible]年[illegible]遺[illegible]
四[illegible]歳八百[illegible]十[illegible]計[illegible]
[illegible]君の初めて[illegible]世[illegible]の控[illegible]
[illegible]時[illegible]の控[illegible]
[illegible]国の言
[illegible]君[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

毎一

一 伊勢ふるさん学者さん大名の学優長ぶつくまつくしくまつ由を迫門の者ども物語り合ひるを学ぶ者ども弾ぜの芸の優劣あり但し韓湖まあど

をやぶつくふのあつくふむ

一 昔孔子様の門に曾子の弟子に参りつくかく

[illegible]

[illegible]

まいりて物語りよ時移りぬいつくしく聞しなりとそ嬉敷ぬきつくこそそそいの袴の

紐をくくり直しなるのいつ方ぬを問ひ伺ふ静なる強なるハ必ず

まいりて物語りよ時移りぬいつくしく聞しなりとそ嬉敷ぬきつくこ

一

[illegible]

一

君の家子明の[illegible]

一

然[illegible]彼[illegible]

[illegible]都[illegible]

[illegible]

一

[illegible]

呈樂山公子

東都分手甚[illegible]不能尽慇懃至今瞻望不已兵蓋浹旬而帰敝邑驛路山川悉只觀也唯感使足下見之耳九州斗大無魚足與語者益思吾之下不足置也越子聰計已還家矣不知有書疏奉左右者耶為勞致意蓋足下高誼不隱肺腑告以経國事要而辱有造于不佞也継之風雅篇什陽春之調幾半寡和不佞詩債日久矣愧之伊達侯豪氣未除磊落魁偉在百

尺樓上白眼見世人足下之益友而不侵所畏也亦善國士遇仲英覩其與
仲英書剛直自持不阿所好[illegible]儕輩豈易交乎答書亦[illegible]可喜仲英不
墜家声可謂南郭先生無子而有子兵献春朝覲[illegible]上鑑湖臺重[illegible]篠池
同顧菱芡藻鴻雁以與觀於賢者之樂焉則復愉快加何時暑酷伏惟
自重需有[illegible]章昭諒不備

一

[illegible]書述[illegible]去多[illegible]彩[illegible]所[illegible]のようあと書セまよりは仮まるとあかうさ以屋まの
中ゑ[illegible]白[illegible]しらうとうと[illegible]ゑ形の[illegible]檀頭の[illegible]他名[illegible]あしいかとしいまく
[illegible]ぬとく名を[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ

右懐舊

一　天保三年の秋の初めより此方学業を怠り候段恐入り奉存候

はるかなる時雨の音聞くなれば
はるかなる時雨の音聞くなれば
昔の人の面影ぞ立ち

一　九月の頃は彩天より一家の方へ一家の方へ
右の内を取りて長崎の果
彩天より近頃
彩天より近頃
彩天より近頃

教正之〻

柱石隆千古。嵩山祝九天。三台呈炳燿。百辟綴班聯。霖降蒼生喜。雲施紫海連。若為祥物望。願得志言詮。肥本都秀阿蘇葉尾壁君才有鳳舉水潤繞龍眠。閑閲東京賦文章南國傳。書詩歪韓藪。勲業表雲煙。武藝門桟盛。彫弓世澤綿。八千禪景樹。三十正青年。丹篆神人授。藜光大乙然。従容趨席講。左右侍経筵。端坐惟清慎。深情更塞淵。掄賢皆環瑋。市駿莫奇権。屢契珊瑚網。頻抽玳瑁編。慈祥教簡誠。淳大全北極。清光被東華。頌望懸蓬瀛。裁衆美。王府領群仙。邦國無紅寿。兵民仰策勲。便須調鼎鼐。不同金錢鑿。祉添芳版嘉。禾貢甫田列。聖成九叙恩。賜日三十久。矣忠誠貴。美哉風度。玉堂仍故里。金鑑每新研。御製邀榮近。宣揚拜手事。高階億世明。府百僚先喜。邑盈朝野。歓声動。陌阡。爭豆可陳。魯聖永戴。越王賢。爵〻風雲會。鳳〻鳳翔朝。崇倚望。仁徳慶。珊瑚鎗。

苔溪雲亭秋紫出謹拝艸

一

此君者小名巻の字を忘れしかとも所ひとしきを芳あるへきを思ひ中のいとしきを愛せんと欲せしかとも梓めんとて書たるものの名をいかにせんとなやみて[illegible]ん人をあさむきあの屋をあるとさとりて[illegible]ふかくさとりを絶れとも[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ